

# 川上ダム通信

2013  
7  
月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

Vol. 94  
Since 2005

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索  
ご意見・ご感想はこちらへ <mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>



## 伊賀市議会が川上ダム建設事業を視察

6月20日(木)に、伊賀市議会産業建設常任委員会(中岡委員長、嶋岡副委員長ほか6名)の皆様が川上ダム建設事業の現地視察に来られました。

視察には、伊賀市の岡本市長、辻上副市長と、中谷副議長をはじめ産業建設常任委員会に所属していない3名の議員も参加されました。

当日は、三重県担当者の案内により、木津川の改修状況等を視察された後、川上ダム建設予定地に来られました。ダムサイト右岸天端では、ダム建設工事の流れについて説明を聞かれ、付替県道青美線工事現場、オオサンショウウオ保護池の順に視察されました。

あいにくの雨模様でしたが、終始熱心に川上ダム建設所の担当者の説明に耳を傾けられ、川上ダム建設事業に対する理解を深めていただくことができました。

【調査設計課 遠本和也】



川上ダム建設予定地を視察される議員の方々

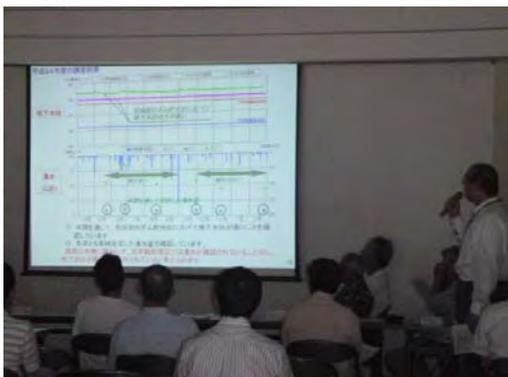
## 桐ヶ丘住民説明会を開催しました

6月16日(日)、伊賀市桐ヶ丘にある多目的施設「アミティ」において、桐ヶ丘自治会の方々を対象とした「平成25年度川上ダム事業説明会」を開催しました。

桐ヶ丘団地は、ダムサイト予定地の北東約400m、ダム完成後の湛水域から尾根を挟んで約300mの位置にある約1,900世帯が軒を連ねる大規模な住宅地です。

事業説明会では、まず、川上ダム建設事業の現状や今年度実施予定の工事内容を報告しました。続いて、ダム完成後における桐ヶ丘団地の安全性を確認するため、平成24年度に実施した桐ヶ丘団地と湛水予定区域の間にある尾根での湧水・地下水位調査の結果、ダムに水を貯めても桐ヶ丘団地に影響しないことが確認できた旨、説明させて頂きました。これは例年の調査結果と同様でした。

当建設所では、今後とも必要な調査を継続し、関係地区の皆様に対して川上ダム建設事業に関する情報をお知らせしてまいります。



事業説明会の開催状況

○説明会資料等については、当建設所HPに掲載しています。

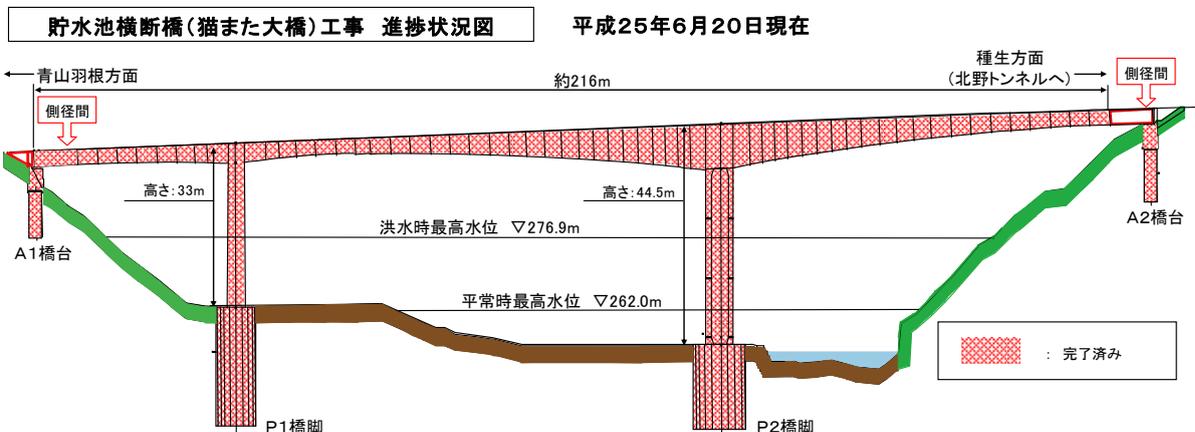
URL: <http://www.water.go.jp/kansai/kawakami/topic/index.htm>

【調査設計課 遠本和也】

# 付替県道青美線貯水池横断橋工事

横断橋工事の進捗状況をご報告します。

6月7日にP1橋脚側の側径間のコンクリート打設が完了し、現在A1橋台側の取付部を施工しています。P2橋脚側は側径間を施工しています。



【工事課 廣瀬早苗】

# 環境用語集 #14 …フラッシュ放流…

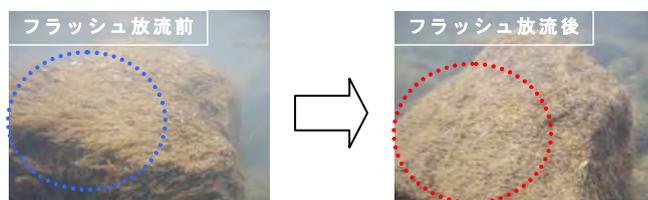
洪水調節を目的に持つダムの多くは、洪水期(梅雨や台風の時期)に備えて、洪水対策の貯水容量を確保するために、少しずつダムの水位を下げる放流を行います。

フラッシュ放流とは、この放流水を有効利用して、川底の石などに付いた古い藻や川底の堆積物を流すために、一時的に川の水を増やす操作です。これによって、川底がリフレッシュされ、川に生息する魚などの生き物にとって良好な環境が生み出されます。

写真は、名張市にある比奈知ダムのフラッシュ放流時の様子です。普段とは違い、晴天時にダムからの放流が見られるのもフラッシュ放流時の特徴です。



フラッシュ放流時



川底の石に付いた藻の状況

【環境課 飯島芳則】

# 美しさを磨く前深瀬川

～河川環境美化活動～

霧雨降る少し肌寒い朝。ちょうど前日、気象庁より東海地方の梅雨入りが発表されていた。平年より11日早い梅雨入りとのこと。

5月29日（水）。集結したのは川上ダム建設所の職員8名。河川環境美化のため清掃活動を行うべく集まった。

今回の取り組み場所は、前深瀬川（木津川と前深瀬川の合流点付近から上流約1 kmまで）。河川付近は、日頃、車で通ることはあるが、歩く事は余りない。河川を見渡すと、普段と変わらず一見美しい。しかし、歩を進めるにつれ、徐々に美しい河川には似合わないモノが存在することに気付く。



緑豊かな前深瀬川



前深瀬川の流れ



空き缶



山積み状態



作業中！



分別中！

8名は、ひたすら收拾する。ペットボトル。空き缶。ビニール袋・・・ありとあらゆるモノが存在するが、根気強く收拾していく。個々に收拾し、軽トラックの荷台に積み込む。皆、汗が止まらない。気付くと荷台は山積み状態である。約2時間の作業成果である。

現地での清掃活動を終え、事務所に持ち帰った收拾物を分別し、当日の作業を終えた。



分別完了

今回の收拾物は、自然に生まれたモノではない。大部分は意図的に持ち込まれたモノである。河川環境を維持するには、人々の意識改革がまだまだ必要である。

なお、この水と緑に恵まれた前深瀬川。自然な川の流れの中で漂う魚達が観られる。アユにおいては、屈指の漁場でもある。しかし、不法投棄も絶えない現実。大雨による増水で何時かはその場から消え去るかもしれないが、下流域での河川環境に影響を与える要因とも言える。



集合！

今回のように、根気強く清掃活動を実施することは、不法投棄を抑止する効果もあり、河川の下流域まで含めた河川環境美化には有効な手段である。

美しさに磨きがかかった前深瀬川を目の前にし、8名はそう感じた。

【第一用地課 本山和良】

# 降雨と川の“表情”

日本列島の至るところで渇水が起こった平成6年。この年は、伊賀地方においても、断水を余儀なくされたことをご記憶の方もいらっしゃると思います。これとは反対に、年間を通じて木津川の水量が多く、9月には台風に伴う雨によって洪水被害をもたらした平成24年。当然のことですが、川は、雨の降り方によって“表情”が変わります。

今年の木津川の“表情”はどうでしょう？今年の1月から5月までの累計降水量は、平年と比べても大差ありませんが、4月と5月だけで見ると6割程度しか降っておらず、大渇水であった平成6年をも下回る累計降水量でした。そのため、木津川の水量が著しく減少しており、至るところで河床が露出し、魚も苦しそうに泳いでいる姿が見受けられました。

この少雨傾向は、6月中旬まで続き、一時は大渇水が危惧されるころでしたが、待望の降雨に恵まれ、現在の川の“表情”は、潤いを取り戻しています。

「梅雨明け」後は、台風や夕立など強雨が多い時期となり、昨年の台風時のように瞬間に川の“表情”が変わることもあります。が、“強ばる表情（洪水）”も“か弱い表情（渇水）”も見せないよう「適度」な降雨を期待する次第です。



木津川の“表情”（昨年との比較）

【調査設計課 遠本和也】

## イベントのお知らせ

### さるびのそうぞDe花火

開催日：7月6日（土）午後8時～（荒天順延7日）  
 開催場所：伊賀の国 大山田温泉 さるびの温泉  
 ※伊賀地域で一番早い花火大会  
 ※7月6日（土）～7月7日（日）は、七夕イベントも開催。  
 問い合わせ先：さるびの温泉（伊賀市上阿波 2953）  
 TEL:0120-46-0268

### 逆柳の甌穴まつり

開催日：7月28日（日）午前10時30分～  
 開催場所：逆柳の甌穴 伊賀市高尾  
 集合：伊賀市高尾字床並 床並集会所（午前10時）  
 ※甌穴内部の見学など  
 問い合わせ先：千方伝承会  
 年岡氏 080-2613-1880

## 編集後記

皆さんは、どんな願い事を書きますか？

町中の笹が年に一度の大変身をするこの季節。そうです。七夕が近くなってきました。色鮮やかな飾り付けの中で、人々の願いが込められた色とりどりの短冊も、笹の葉と一緒になびいています。

願いが叶うか、叶わないか。結果は人それぞれ。しかし、願いを考えた事は、その願いに対して、きっとプラスに働くはずです。

七夕飾りがあれば、短冊に願いを込めて。近くに無くても、心の中の短冊に願いを込めましょう。その先にいい結果が待っていると信じて。

今月号のダム通信はいかがでしたか？ 特徴として「梅雨」「洪水」「魚」など季節感のある文字が多く登場しました。やはり、自然現象が気になる季節です。

自然現象に対しては、“願い”とともに“備え”も忘れずに。

### 【広報誌発行事務局】

編集長	神矢（所長）	
デスク	梅村（総務課長）	田中（工務課長）
記者	湯本（総務課）	渡辺（総務課）
	本山（第一用地課）	高橋（第二用地課）
	遠本（調査設計課）	飯島（環境課）
	廣瀬（工事課）	日隈（工務課）

